

# 地域材の利用推進に向けて ～県産スギ材合板の新しい取り組み～

宮城県東部地方振興事務所 技術主幹 向川克展

## 1 はじめに

宮城県石巻市は県の東部に位置し、仙台市に次ぎ人口16万人を擁する県内第二の都市で、石巻工業港周辺地域には合板会社3社をはじめ木材加工、製紙・パルプ業が立地する県内屈指の木材消費地となっています。

近年、国際情勢の変化による輸入原木調達不安定化や、地球温暖化防止対策などを受けた森林整備推進による国有林、民有林両者からの素材生産量の増加を背景に、合板用原木の国産スギ材への転換が急激に進んできたところです。

合板用スギ原木の流通拡大に伴って生じる課題の解決を図るとともに、県産スギ材合板の利用拡大を図るため、林業普及活動として様々な取り組みを行ってきましたので、その内容を報告します。

## 2 活動の内容

### (1) 合板向け原木の需給調整

平成16年度から合板製造会社を対象に、スギ材に対応した生産体制の整備を図るため、国庫補助事業の活用により生産設備の導入を支援しています。これに合わせ、石巻地域の林業普及指導事業の重点課題に「地域材の利用推進」を位置付け、合板用原木の供給体制の強化を図りました。

具体的な活動としては、宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部と連携し、原木の需給調整の場として「合板用県産材の供給等に関する検討会」を設立・開催し、供給者と需要者の合意形成により原木供給目標を定め、地域が一体となった原木供給体制を構築したほか、納入時期、各種要望事項の調整



合板用県産材の供給等に関する検討会



合板用原木品質管理研修会

等を行いました。また、当検討会参加者の要望により、原木の品質安定化のため「合板用原木品質管理研修会」を開催し、素材生産事業者に対して合板用原木規格の周知を図りました。

## (2) 合板の利用拡大

### ① 公共施設における利用促進

石巻地域の市町が民間需要の先導役として率先的に地域材を活用し、地域の木材関連産業、住宅関連産業の活性化につなげることを目的に、市町の公共施設建設担当職員を対象として「石巻地区公共施設地域材利用推進会議」を開催しました。



石巻地区公共施設地域材利用推進会議

合板を含めた地域材の利用推進に向けて、木造施設の設計方法、仕様書における材料の指定方法等具体的な情報交換を行った他、建設中の公共施設や木造の社会福祉施設を視察し、地域材の利用状況を確認しました。



建設中の木造公共施設を見学

このような活動の成果として、市町における公共施設木質化の事例

が増加しており、市町営住宅、市民センター、公民館、社会福祉施設等毎年数件づつの実績を残しています。

### ② 新しい用途の開拓

石巻で生産されている合板は、そのほとんどが首都圏等県外に出荷されています。県産スギ合板の知名度向上と県内での利用拡大に向け、宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部と連携し、新しい用途の開拓及びPR、要望活動を行いました。

### ○花火大会観客席への利用

毎年20万人の来場者を集める「石巻川開き祭り花火大会」の有料観客席に、これまでの外国産材合板に代えて、県産スギ材合板の利用を商工会議所に働きかけ、県産スギ材合板1100枚の利用に結びつきました。



花火大会観客席に1,100枚の県産スギ材合板を使用

### ○地震被災地への救援物資としての提供

平成20年に発生した「岩手・宮城内陸地震」で被災した栗原市に対し、一日も早い復旧の一助となるよう建築材料として汎用性が高い県産スギ材合板500枚を救援物資として提供し、仮設住宅の資材等有効に活用されました。



被災地に500枚の県産スギ材合板を提供

### ○県産材製品等PR支援事業によるオリジナル家具の作製

県単独補助事業を活用し、石巻地区森林組合と地元家具製造会社の協働により、県産スギ材を活用したオリジナル家具の開発に取り組みました。

県産スギ材合板と県産無垢スギ材を組み合わせ、仙台たんすの伝統手法を用い、洗練された10点の試作品ができました。



ローテーブル（天板、中板に合板使用）



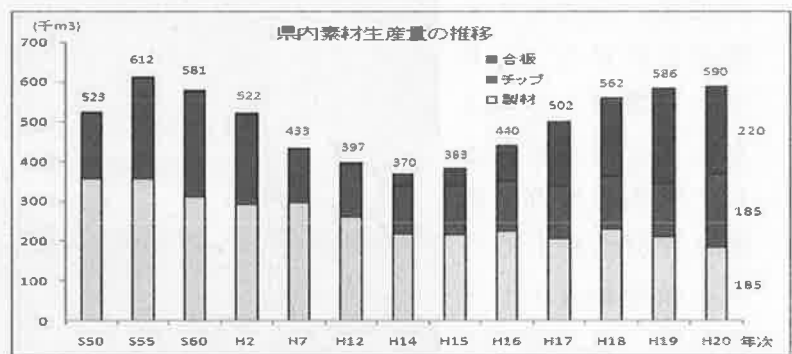
チェスト（天板に合板使用）

### 3 活動の結果

生産体制の整備や原木の需給調整体制の確立により、県産スギ材合板の生産量は飛躍的に増加し、これに伴い合板用県産原木生産量は、県内素材生産量の37%を占めるまでになりました。

また、需要先が確立したことにより、事業者の素材生産への意欲が向上したことから、間伐等森林整備の推進をはじめ地域林業の活性化に大きく寄与しました。

さらに林業普及活動による県産スギ材合板の用途拡大への取り組みの結果、住宅部材以外の利用事例にもつながりました。



合板用原木の増加による素材生産量の増加

### 4 今後の方針

これまでの活動等により増加した県産スギ材の安定的需給の維持に向け、今後も引き続き「合板用県産材の供給等に関する検討会」の運営を中心に、原木の需給調整、原木の品質向上のための活動を支援していくこととしています。また、合板も含めた地域材の利用推進についても公共施設の木質化・地域材利用を進めるとともに、公共土木事業への地域材利用拡大を進めていくこととしています。

さらに、石巻地域には、民間の国産材中堅製材工場や石巻地区森林組合のバイオマス利活用施設「ウッドリサイクルセンター」、木材加工工場等のバイオマスボイラーが整備されており、製材用材、合板用材、原料用・燃料用バイオマス原料が利用されてきましたが、今後は、未利用林地残材にも着目し、有効活用が進められるよう地域が一体となった総合的な需給体制の構築を進めていくこととしています。